

## 保川地点水生生物調査及び基本設計

### 1. 調査の目的

保川発電所(仮)の水利使用申請に必要となる維持放流量算定の基礎資料とするため、季別の水生生物調査及び正常流量の検討を実施する。

発電所建設を前提として、既往概略設計を参考に更なる有効落差の拡大、並びに仮設及び工法を加味した水路線形の再検討を行い諸施設の形状を決定する。

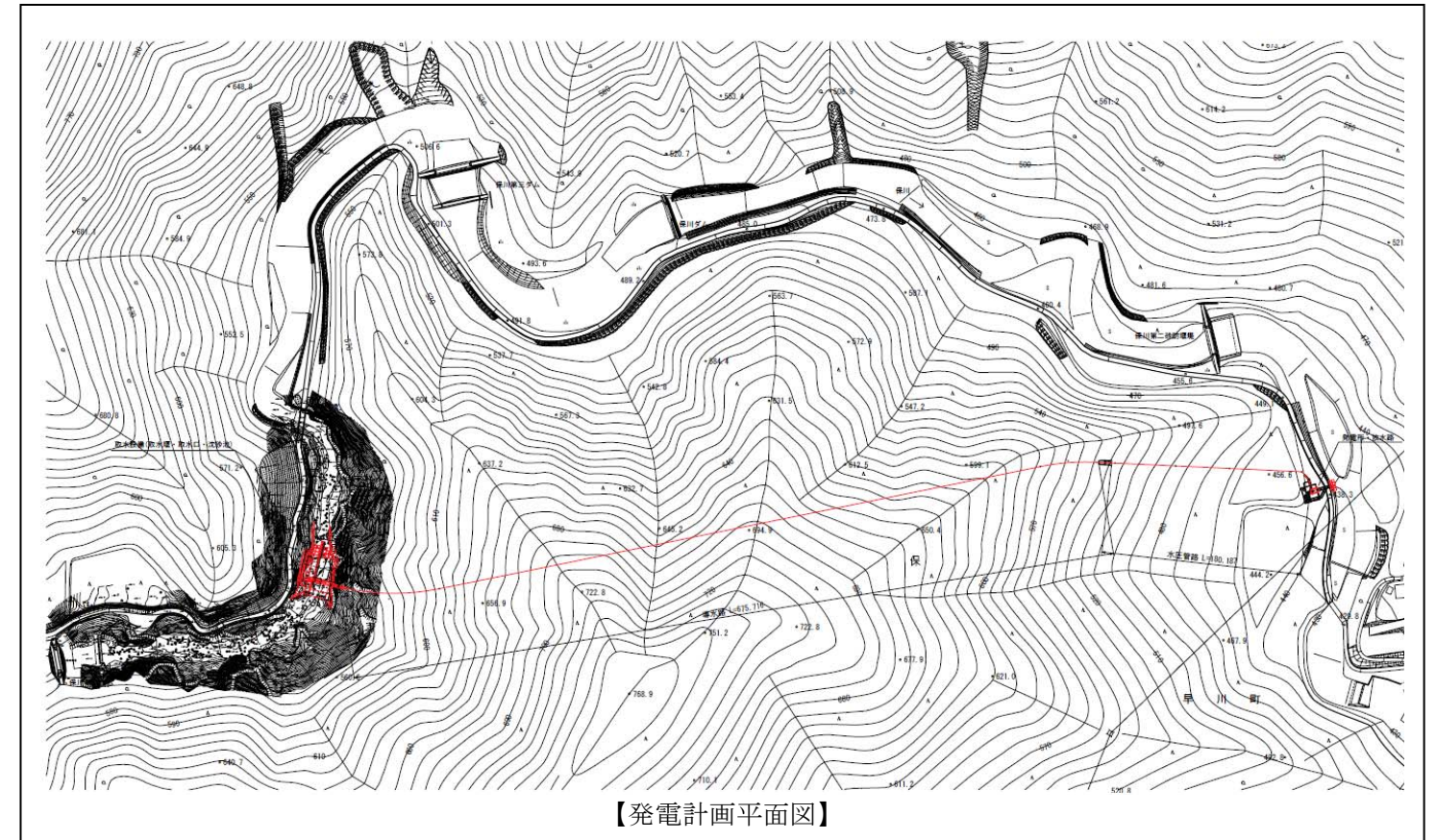
### 2. 調査の内容

- (1) 事業者名  
山梨県企業局
- (2) 事業名  
保川地点水生生物調査及び基本設計
- (3) 事業期間  
平成 29 年 4 月 27 日 ~ 平成 29 年 11 月 22 日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
  - a.型 式 : 水路式
  - b.使用水量 : 1.40m<sup>3</sup>/s
  - c.有効落差 : 83.10m
  - d.出 力 : 930kW

### 3. 平成 29 年度の事業実施概要

#### ① 水生生物調査の実施

昨年度実施した冬季(12月)の調査に引き続き、春季(5月)及び夏季(7月)の2回の調査を実施し、アマゴのみの生息を確認。



#### ③ 正常流量の検討

計画地点における減水区間において河川状況調査を行い、水生生物調査結果をふまえ、水利使用許可申請に必要な検討を実施。水理量計算、河川維持流量 10 項目検討を実施し、100km<sup>2</sup> 当り 0.6m<sup>3</sup>/s とした。

評価地点名	追加距離 (km)	地点流域 面積 (km <sup>2</sup> )	残流域 面積 (km <sup>2</sup> )	残流域 流出量 (m <sup>3</sup> /s)	必要流量 (m <sup>3</sup> /s)				必要放流量 (m <sup>3</sup> /s)	100km <sup>2</sup> 当りの 流量 (m <sup>3</sup> /s)
					H=15cm	V=30cm/s	W/B=20%	最大値		
(仮) 保川発電所 取水ダム	0.00	20.00	-	-						
NO.1地点	0.16	20.10	0.10	0.002	0.083	0.101	0.065	0.101	0.099	0.495
NO.2地点	1.55	21.10	1.10	0.019	0.038	0.123	0.092	0.123	0.104	0.520

対象魚種：アマゴ 水面幅：見かけの河川幅の2割



#### ② 保川発電所(仮)基本設計

河川および周辺環境状況により、発電計画のルートを選定。崩壊地等の急峻な地形に加え、既設砂防堰堤の計画堆砂域を除外すること等を考慮し、最適なルートを選定。

流量資料については、至近 10 カ年として平成 18 年度～27 年度の資料を整理。25 年度～27 年度は実測データによる整理、それ以前の期間については、計画地点近傍かつ自然流況であり、より相関性の高い地点の流量データにより補完し整理した。

水車形式の選定にあたっては、最大使用水量、有効落差及び採用実績より「横軸フランシス水車」を選定した。

### 5. 事業スケジュール

調査内容	H28 年度	H29 年度
基準側線の選定	■	
水生生物の状況調査	■	■ ■
基本設計		■
土木設計		■■■■■■■■■■
電気設計		■■■■■■■■■■
正常流量の検討		■■■■■■■■■■
資料作成		■■■■■■■■■■